

平成27年度第4回宇都宮市河内自治会議録

1 日 時 平成27年7月22日（水） 午後1時30分～午後15時35分

2 場 所 河内地域自治センター 第1・2会議室

3 出席者

【委員】 杉原弘修委員（会長）、川上幸子委員（副会長）、加藤幸雄委員、宗像茂委員、
計18名 岩崎悦男委員、菊地久美子委員、小曾戸和子委員、白坂喜美雄委員、多田出芳
子委員、田村正男委員、中澤敏美委員、防木正雄委員、松谷悦広委員、山田祐
子委員、我妻勝次委員、小森光晴委員、島田正重委員、永井寛委員、

【事務局】 河内地域自治センター所長、地域自治制度担当副参事、地域まちづくり担当副
計11名 参事、自治振興課長、地域経営課長、地域づくり課長、産業土木課長ほか4名

4 会議の公開・非公開 公開

5 傍聴者数 なし

6 会議経過

(1) 開会

- ・本日の会議の出席者数は18名、櫻井基一郎委員、清水映夫委員が欠席。委員数の過半数に達しているため、会議が成立することを事務局から報告

(2) 協議事項

①合併市町村基本計画の執行状況について

- ・答申書（案）の協議

発言者	発言内容
会 長	前半は、合併市町村基本計画の執行状況についての答申に向けて全体協議を行う。後半は、「地域のまちづくりに関する施策の提案」についての課題の抽出をグループ協議していただく。では、前回に引き続き合併市町村基本計画の執行状況についての答申に向けて意見交換を行う。委員の皆さんからいただいた意見を参考に、私と副会長で協議し、文言等について整理を行い、答申書（案）としてまとめた。事務局から説明をお願いします。
事務局	資料1 答申書（案）を説明
会 長	何か意見等はないか。
委 員	岡本駅西土地区画整理事業についてだが、「安心で安全」の文言ではなく「安全で安心」の文言が良いのではと思う。「で」が入らなければ安心安全のひとつの四文字熟語なので良いと思うが、「で」が入れば、ひとつひとつの言葉になる。
会 長	そのことに何か意見はないか。
委 員	安心、安全は混同されているのではないか。「安全で安心」の文言がもっともな考えだと思う。正式な文言は安全が先だと思いがいかか。
会 長	前回の説明では、どちらを先にするかの原則はないと聞いた。「安心、安全」と使われているのもあれば、「安全、安心」と使われているものもある。自治会議で、ひとつの形式を決めても問題ない。
委 員	文法的なものはどうなのか。
会 長	文法は問題ないと思う。問題は言葉の意味である。
委 員	「安心、安全」でとおすすめであれば「で」の文字を中点にすれば良いと思う。
委 員	社会福祉協議会では、「安心安全情報キット」や「安心安全情報」のパンフレットを

	作成している。
会 長	事務局の考え方はどうか。
事務局	2 ページの道路新設改良事業の文言は「安心・安全」である。岡本駅西土地区画整理事業も同様に「安心・安全」の文言にする考え方もある。
会 長	前の文章との整合性を取ることで、今回は「安心・安全」でいかがか。
委 員	了解した。
会 長	「安心・安全」と修正させていただく。その他に意見はないか。無ければ一部修正し答申（案）を確定してよろしいか。
委 員	了解した。
会 長	答申書（案）を最終的な答申書として確定する。答申書は8月20日に正副会長が市長へ提出する。市長への答申後、答申書の写しを委員に郵送する。
委 員	了解した。

②地域まちづくりに関する施策の提案について

・現状の把握（全体協議）

会 長	地域のまちづくりに関する施策の提案についての協議を行う。 前回、グループ協議いただいた、テーマ「自然環境，都市環境」の地域の強みと弱みについて、私と副会長で整理し資料としてまとめた。今回は、その資料をもとに協議を行い、「課題の抽出」につなげていきたい。事務局から説明をお願いします。
事務局	参考資料と資料2を説明
会 長	事務局から説明があったが、何か意見，質問があるか。
委 員	東京から越してきた。最初、釜井台に住み現在は西側の地域に住んでいる。河内地区は東側と西側のバランスが取れていないと思う。西側方面は農村地域で、店は近くに無く、車が無いと買い物に行けない。高齢者は日常生活が不便である。釜井台に住んでいた頃は近くにスーパーがあり、買い物もすぐに行けた。「都市環境」の強みで、暮らしやすい環境整備が進んでいるとの表現になっている。東側は進んでいると思うが、西側は暮らしやすいとは誰も思っていないと思う。その内容の文言を加えていただけたらと思う。
会 長	地域差があるので、この表現だと全域すべてが進んでいるように思われて困るということではよろしいか。弱みと強みのどちらが良いのか協議する。もしくは、都市環境の強みの中にも弱みの部分があることを意識し、次回の協議で課題の抽出をする方法もある。何か意見はないか。
委 員	岡本駅周辺とまちづくりの地域が都市環境となると整備が進んでいると思う。西側の自然豊かな地域は都市環境を進めるよりも保護する地域だと思う。暮らしやすい都市環境が進んでいる地域もあれば、進んでいない地域もあるのは、当然だと思う。課題に向けて進めた方が良いのか、そのままが良いのか。
会 長	皆さんが求めている環境は、自然環境と都市環境のふたつを求めている。そのバランスが難しいと思う。人により良い環境では無い所に住んでいるが満足している方もいると思うし、公共施設を整備して欲しいと考える方もいると思う。先程の貴重な意見を意識して、課題の抽出を協議するのはどうか。
委 員	了解した。
委 員	「自然環境」の強みで、都市部と農村部のバランスが取れているとはどのような意味なのか伺いたい。
会 長	河内地区は都市部よりも農村部を置くべきと考える方や道路や施設を充実すべきと

	考える方もいる。バランスを意識したうえで、新しい課題を検討してみてはどうか。これから議論するキーワードではないかと思う。
委員	了解した。
会長	今後も意見を出していただきたい。本日のグループ協議の進め方について、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料3, 4を説明
会長	事務局から説明があったが、何か意見、質問があるか。
委員	なし
会長	課題の抽出について、グループ協議を進めていただく。各グループには、サポート役として事務局職員が入り、私も各グループを回るので、何かわからない点があれば質問していただきたい。

課題の抽出のグループ協議を実施

会長	B・C・Aの順で発表をお願いします。
委員	<p>Bグループの発表をする。</p> <p>自然環境と都市環境イコール農村部と都市部のことなので、共通な課題は両方に記した。「東西の格差がある」は東西ということは都市部が東で農村部が西になる。「高齢者にやさしい地域にしていく必要がある」は両方を意味する。</p> <p>自然環境の課題は「自然環境を整備していく必要がある」「東西の格差がある」「高齢者にやさしい地域にしていく必要がある」</p> <p>「自然環境を整備していく必要がある」については自然が壊れてきている。ごみが捨てられ農地の放棄地があるとの意見が出た。</p> <p>都市環境の課題は「東西の格差がある」「高齢者にやさしい地域にしていく必要がある」「住環境を良くしていく必要がある」</p> <p>「住環境を良くしていく必要がある」については、空き家が増えている問題と自治会を脱退する方が年々増えている。住環境を良くする必要がある。</p>
	<p>Cグループの発表をする。</p> <p>自然環境の課題は「豊かな自然を守り、水と緑を守る必要がある」「農産物の地産地消の推進を目指す必要がある」「森林開発の規制と不法投棄を防止して森林を保護する必要がある」</p> <p>「豊かな自然を守り、水と緑を守る必要がある」については、豊かな自然環境があるこの地域をこのまま維持していくことが必要だと思う。「農産物の地産地消の推進を目指す必要がある」については、河内地区の農産物を地産地消できるよう導き出すことが必要だと思う。「森林開発の規制と不法投棄を防止して森林を保護する必要がある」については、平地林が宇都宮市全体で少なくなっている。開発規制や不法投棄を防止する必要があると思う。環境を整えることで、獣害も防げるので森林保護は必要だと思う。</p> <p>都市環境の課題は「地域内交通を拡充し、生活弱者の支援をする必要がある」「空き家・耕作放棄地の対策を練り、活用を図る必要がある」「新興住宅地の地域住民との融和を図る必要がある」</p> <p>「地域内交通を拡充し、生活弱者の支援をする必要がある」については、下ヶ橋</p>

	<p>地区も買い物等で不便を感じる方がいる。西方面、東方面の考え方ではなく、河内地区内の地域内の交通網を充実させることが大切なのではと思う。「空き家・耕作放棄地の対策を練り、活用を図る必要がある」については、新興住宅地があるのに空き家が増えているのはどういうことなのか。空き家や耕作放棄地を活性化するにはどのようにしたら良いかが今後の課題である。「新興住宅地の地域住民との融和を図る必要がある」については、これから地域住民になる方を支えながら、住民意識を持つことが必要だと思う。</p>
委員	<p>Aグループの発表をする。</p> <p>都市部と農村部を同じようにすることには無理があるとの意見が出た。それぞれの良さを伸ばし発展させることが大事なのではと思う。</p> <p>自然環境の課題は「農村部の良さを知ってもらい、不便さを補う必要がある」「かわちの自然を生かしたPR事業を起こす必要がある」「豊かな自然を保全していくために地域力を高める必要がある」「地域の後継者を育て、自然を大切にしていく必要がある」</p> <p>「かわちの自然を生かしたPR事業を起こす必要がある」については、多くの事業に取り組んでいるが、事業のPRや場を増やすことが必要だと思う。「豊かな自然を保全していくために地域力を高める必要がある」については、私は、「チャレンジ自然inかわち」の事業に参加しているが、農村の良さを知ってもらう趣旨の事業である。自然の良さを体験や地場産の野菜を振る舞う等した。</p> <p>都市環境の課題は「都市環境と自然環境に住む人々の双方の利便性を上げる必要がある」「都市部の方にもかわちの豊かな自然を共有していく必要がある」「地域の人が心身ともに健康でいられるシステムが必要である」「自然を守りながら計画的な都市環境を整える必要がある」</p> <p>「地域の人が心身ともに健康でいられるシステムが必要である」については、河内地区には、総合運動公園や図書館、文化財等がある。身も心も育つシステムが必要なのではと思う。「自然を守りながら計画的な都市環境を整える必要がある」については、太陽光発電を整備するとなると、自然等を犠牲にしないと整備できない所があり、森林と環境を守ることが課題なのではと思う。</p>
会長	3グループの発表に対して意見等はあるか。
委員	なし
会長	皆様からいただいたご意見を私と副会長で整理をし、次回の会議でお示ししたいが、一任願えるか。
委員	異議なし。
会長	次回の会議では、本日協議いただいた課題の抽出を基に目標の設定と実現方策について協議を行う。次回の会議前に目標の設定についての考えを記入し、事務局への提出をお願いします。以上で第4回宇都宮市河内自治会議を終了する。

(3) その他

- ・今年度の協議開催内容について説明
- ・次回の開催日程について平成27年10月に開催予定。詳細は後日連絡
- ・目標の設定資料の用紙を9月頃に送付する。

(4) 閉会